

■ 教育書道界の重鎮

山口 蘭溪

やまぐち らんけい

出身地 大館市（旧比内町）

1882年（明治15年）～1975年（昭和50年）

土崎尋常高等小学校在職中、書家となる決意をして上京。日下部鳴鶴に師事、やがて中央書道界の重鎮となる。秋田書道展の主査を長い間務め、本県書道の興隆に貢献した。



年譜

- 1882年 おおだて ひない 大館市（旧比内町）に生まれる。本名・南寿。
- 1905年 しはん 秋田県師範学校卒業。
- 土崎尋常高等小学校在職中、本格的に書道を学ぶ。
- 1912年 くさかべめいかく 上京。日下部鳴鶴に入門する。
- 1936年 しどうてん 秋田書道展主査となる。（～62年）
- 1939年 こうあしどうれんめい 興亜書道連盟理事となる。
- 1945年 そうりつ さんかく 日本書道美術院創立に参画、総務となる。
- 1948年 しんぶん そうむ じむきやく 毎日新聞社書道展総務・事務局長となる。
- 1966年 こうやさん 高野山書道協会の書道界代表・副会長となる。
- 1975年 ぼつ さい 東京都で没。93歳。